

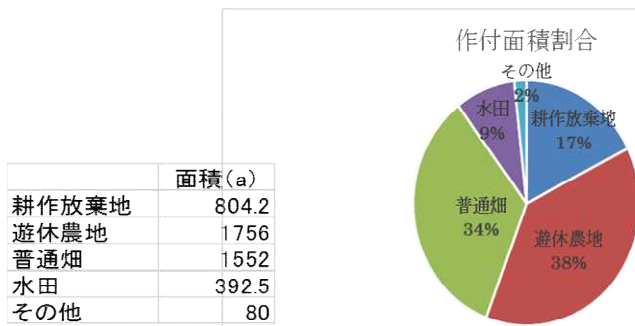
関東農政局「ディスカバー農^{むら}山漁村の宝」選定地区取組概要

① JA常陸 大宮地区枝物部会 ひたちおおみやし【茨城県常陸大宮市】 ～枝物の産地化で蘇った地域の活力！～

【取組の概要】

- 耕作放棄地・遊休農地を活用して、定年帰農者を中心とした枝物栽培による地域再生を開始。
- 「耕作放棄地緊急対策事業」を活用し、地元からの理解と協力を得ながら、ハナモモ、ヤナギ等の枝物を植栽。
- 自然の恵みを再発見し、雑草として刈られていた野生の草花、お月見用のススキ、放置されていた竹を、七夕や正月の飾り付けとして商品化。
- 震災復興支援に向け、福島県浪江町花き組合の枝物栽培・導入を支援。地元高校への練習花材の提供のほか、近年では、ベトナムや台湾などアジアを中心に枝物の輸出を開始。
- 100人、100ha、1億円を目標に、ゼロからのスタートした枝物栽培は、今年度100人、1億円を達成できる見込みまで成長。

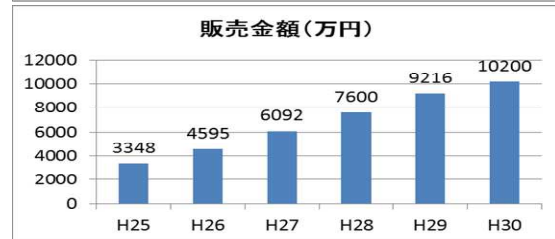
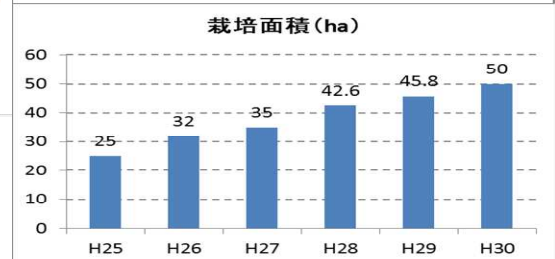
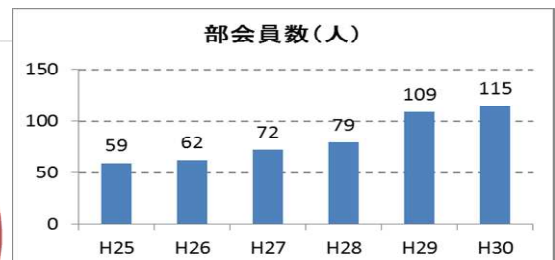
【活動の様子】



農地状況区分別の栽培面積及び面積割合



耕作放棄地解消の取組



部会員数、栽培面積、販売金額の推移



地元高校へ、練習花材等の提供・支援



全国高校生花いけバトル関東大会優勝作品

関東農政局「ディスカバー農^{むら}山漁村の宝」選定地区取組概要

③ めいわ農商工連携推進協議会【群馬^{めいわまち}県明和町】 ～B級・C級品の梨を6次産業化で有効活用！～

【取組の概要】

○ 和梨の産地であることを活かし、大人から子供まで楽しめる梨ジュース「梨の雫めいわ」を企画。瓶容器の高濃度果汁のものではなく、スーパーやコンビニエンスストアで手軽に購入できるものを開発・販売。

○ 「梨の雫」の町内小中学校の学校給食への提供を機に、地元産梨の果汁を利用した「梨カレー」の学校給食提供や、町内飲食店による季節限定の梨料理の開発、町内コンビニで「梨」及び「梨ドライフルーツ」の販売を開始。また、地元農家が6次産業事業認定を受け、「梨の雫飲むゼリー」を開発・販売。

○ 若手農家が梨のドライフルーツのイベント販売を開始するほか、地域活動支援センター（知的障がい者就労施設）においても地元産の野菜・果実を使用した加工品を開発、販売。

【活動の様子】



農商工連携推進協議会によるワークショップ



イベント 町イチ！村イチ！で梨農家がPR



学校給食にてこどもたちに提供



梨の雫スパークリング試飲会



梨の清涼飲料水「梨の雫」



開発した梨ワイン(右)、梨ゼリー

関東農政局「ディスカバー農^{むら}山漁村の宝」選定地区取組概要

⑥ 一般社団法人 ^{ゆくぼじゆく}湯久保宿 ^{ひのはらむら}【東京都檜原村】 ～五感が蘇る暮らし体験、山間の「てしごとや」～

【取組の概要】

○ 集落全体をフィールドとして、萱葺き古民家(てしごとや)を拠点に「衣・食・住・農」各「てしごと」の体験型研修プログラムを設け、自然と共生する山の暮らしを実践的に学び合える「場」を提供。

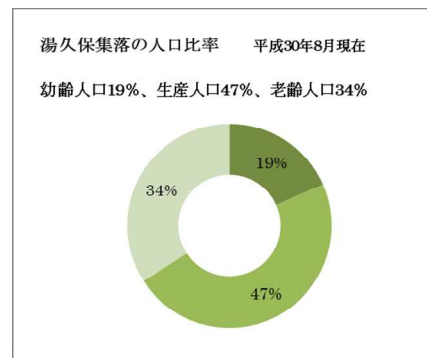
○ 「てしごとや」を交流や活動拠点施設として、新たな時代にあった「しごと」を起業するための研修や、古民家再生や暮らしの技術、知恵を学ぶ体験型研修を実施。

○ 湯久保集落には子育て世帯が都内などから続々と移り住み、子どもからお年寄りまで年代を越え、畑仕事や自然と共にある暮らしを楽しみ、世代間の交流が図られている。

【活動の様子】



景観・環境保全作業での交流



湯久保集落の人口比率



畑仕事・子どもからお年寄りまでともに



山間の暮らし研修



伐採丸太を古民家再生に活用



急斜面に建つ古民家の軸組直し

関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」^{むら}選定地区取組概要

② 社会福祉法人 パステル ^{おやまし}【栃木県小山市】 ～桑グリルパワーと地域共生社会作り～

【取組の概要】

- 障がい者の社会参加、就業支援のため、桑をテーマとした「食べる桑」、「養蚕から手織物」といった商品を開発。
- 耕作放棄地を再生し、無化学肥料で桑を栽培。桑の葉を利用した桑茶、パウダーとしてパン・ケーキ・クッキー、うどん、パスタの製造。
- レストラン・パン工房での6次産業化商品等の食事提供・販売。
- 養蚕業を開始し、紬糸取りから新たに紬織物の製品化に向けて試作。

【活動の様子】



桑の商品と桑パウダー作り



コンサート



織物



糸つむぎ



レストラン・パン工房



マルベリーパスタ

関東農政局「ディスカバー農^{むら}山漁村の宝」選定地区取組概要

④ ^{かわらさわ}河原沢よつてがっせー委員会【^{おがのまち}埼玉県小鹿野町】 ～小さな郷での大きなおもてなし～

【取組の概要】

- 寒い気候を利用して創作する氷柱事業が成功したことを機に、年間を通じた観光客の受け入れのため、4月～11月の土・日・祝日に(氷柱の時期は毎日)地域の女性の会を中心に売店で簡単な郷土料理や農産物を販売。
- 地域でのお土産品として茶まんじゅうを生産し、イベント時を中心に売店で販売。
- 農園での野菜栽培のほか、遊歩道の整備・花木の植栽など溪谷周辺を整備。
- ホームページやかわら版でPRも行い、お客様の目線に立って、「今できることからやろう・心のこもったおもてなしをしよう」を合い言葉に活動を実施。

【活動の様子】



登山道の鉄骨化作業



ダリアの花の切り取り作業



西洋シャクナゲの植付



まんじゅうづくりの様子



冬季氷柱業務の準備



農園での作業の様子

関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区取組概要

⑨ 河津商工会/河津わさびで泣かせ隊 ～河津わさび「泣けるグルメ」で地域興し！～

かわづちょう
【静岡県河津町】

【取組の概要】

○ 河津のわさび農家のまかない飯である「わさび丼」を特産品として、町内15店舗程がメニュー化。また、町内の飲食店や宿泊施設等にわさびを使った料理をメニュー化してもらうため、コンテストを実施。

○ 河津町の特産品であるわさびを使用した、7つの「泣けるグルメ」わさびメニューを開発し、「あんバタわさこ」、「河津鮎泣きそば」の2品を商標登録。また、活動拠点として有志で「泣かせ隊食堂」を開業。

○ 平成27年度に「全国ふるさと甲子園」に出場。孤独のグルメ×河津わさび丼・あんバタわさこで出展し、準グランプリを獲得。(全国55団体が出展)

○ ロケ誘致とわさびグルメのお店紹介を行うMAPをつくり、観光客へPR。

【活動の様子】



河津ふれあいまつりにて試作品を披露



あんバタわさこ取扱店への作り方講習



第1回全国ふるさと甲子園に出場



全国ふるさと甲子園で準グランプリを獲得



わさびグルメコンテスト表彰式



高校生による「わさび入りマフィンサンド」作り方講習

関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区取組概要

⑧ 農事組合法人 山室【長野県伊那市】 ～地域利用型農業で地域丸ごと商品化～

【取組の概要】

- 定年帰農者、新規就農里親制度（長野県就農支援制度）やJA上伊那インターン研修制度の活用により新規就農者を確保。
- 生産した米（酒米）は、伊那市内の酒造会社と契約し、日本酒もブランド化。
- 新規作目としてブロッコリー、ズッキーニなどの野菜栽培に着目し、集落内の女性と高齢者の活躍を促進。
- 都市部との交流事業として水田のオーナー制度（1区画1a）を実施。田植えと稲刈り体験会により消費者と生産者の交流を図り、互いに顔が見える関係をつくることで、農産物の新たな販売ルートを開拓、収益の改善を実現。

【活動の様子】



水田オーナー 田植体験会



稲刈り大体験会時の蕎麦打ち体験会



地元神社への新酒の奉納



園芸作物の収穫選果風景



地域内組織の連携図

関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区取組概要

⑤ 平群^{へぐり}ツーリズム協議会【千葉県南房^{みなみぼうそうし}総市】

～平群(へぐり)「子どもの声が響く地域」づくり ～

【取組の概要】

- 平群が大好きな子どもや都市住民の平群ファンを増やして地域を活性化。
- 子ども向けイベントとして、夏は地元元ガキ大将群と一緒に川遊び、秋は伏せ姫の秋祭り、冬は凧揚げ大会を開催。
- 古民家「ろくすけ」を拠点に、地域の自然・歴史文化や食材の魅力をいかしてツーリズム、「平群を歩く」、「平群郷土料理塾」を開催。
- 耕作放棄地を活用して、都市住民グループの米作り体験、そら豆・大豆栽培・収穫体験イベント指導及びみかん農家への援農支援を実施。

【活動の様子】



円卓会議の様子



子ども向けイベントの様子～夏の川遊び～



「平群を歩く」の様子



「平群郷土料理塾」の様子



都市住民グループの米作り体験の様子



みかん農家援農支援の様子

関東農政局「ディスカバー農^{むら}山漁村の宝」選定地区取組概要

⑦ 横須賀西海岸体験たび推進協議会

【神奈川県横須賀市^{よこすかし}】

～過疎からの脱却。閉塞感を打ち破れ！～

【取組の概要】

○ 平成26年に兵庫県神戸市立港島中学校の62名を皮切りに、修学旅行生を対象とした農泊の受入を開始。平成28年には16校1840名の修学旅行生を、平成27年には初めてインドネシアの学生を受け入れするなど、タイ、台湾、マレーシア等様々な国々からの学生を受入。

○ 民泊の家業体験（農作業体験や漁業体験等）を通して、若者達の農業・漁業に関心を持ってもらう機会を創出したほか、地域文化体験も実施。

○ 英語版パンフレットやホームページを製作し、PR体制を強化。体験メニューや料理メニューを作りあげるなど、積極的に受入体制を強化。

【活動の様子】



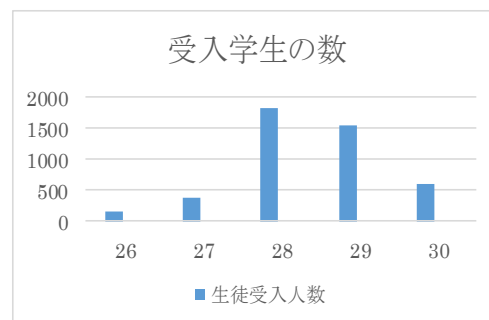
言葉の壁を越えた交流(インバウンド)



もう一つの家族に(民泊最大の魅力)



地元住民と受入学生の見送り



受入学生数の推移



日本の文化を体験



各種イベント時でのPR

関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区取組概要

⑩ 特定非営利活動法人かわね来風 らいふ 【静岡県川根本町】 かわねほんちょう ～農家民宿で町に生きがいと潤いを！～

【取組の概要】

○ 食と地域の交流促進対策交付金を活用し、モデル農園や地域の農家の畑を活用した食と農業の体験ツアーを開催。また、農家民宿の推進を行い現在6軒が開業。

○ 平成27年度から、静岡県の観光協会と連携し台湾の修学旅行生の受け入れを開始。30年度は中国修学旅行も受け入れ、7月現在で5校173名を受入。その他に一般客として台湾、フランス、チュニジア、アメリカなど、海外TV取材はインドネシア、マレーシアから受入。

○ 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)を活用し、台湾向けHP・印刷物、英語版HP・印刷物、欧米向け動画を作成。

【活動の様子】



SLが通る畑でのイモ堀り体験開催



かわねグリーンツーリズムロゴ作成



初めての台湾修学旅行受け入れ



農家民宿「天空の宿」



川根農産物直送便



食と遊びの三ツ星村